

核兵器廃絶！

千葉県原爆被爆者

友愛会

ニュース

No. 135



千葉県原爆被爆者友愛会
〒263-0021
千葉市稲毛区轟町1-4-23
ラハイナハウスⅡ号棟101号室
TEL/FAX : 043-253-7768
発行人 児玉 三智子

ホームページアドレス(URL):
http://www5.plala.or.jp/yuaikai/

フェースブックアドレス(URL):
http://www.facebook.com/
HibakushaYuaikai

電子メールアドレス:
jimukyokuate@meet.plala.or.jp

第五十二回定期総会の報告

日時：令和4年5月26日 午後1時30分開会
場所：千葉市民会館 特別会議室2
議長：宇田川太江子氏
副議長：荒木忠直氏

第52回定期総会は出席者32名(内代議員14名/17名中)の参加のもと、館山被爆者同友会の古畑さんの司会進行で、原爆犠牲者への追悼の黙祷で始まり、続いて児玉会長は挨拶の中で、ロシアによるウクライナ侵攻と核兵器使用の脅しに触れ、核兵器の使用はあつてはならず、戦争と核兵器に反対する大切な時代と述べました。

今年もコロナ感染が終息していないことから、来賓の皆様にはメッセージをお願ひし、36通頂戴しました。船橋市の会・眞下さんより、日本被団協のメッセージ披露とメッセージを寄せられた方の紹介を行いました。

議事としては、令和3年度の活動報告、決算報告、委託事業報告がなされ、拍手をもって承認されました。会員の減少によって予算が苦しくなっていること、また、コロナ禍のもと各保健所の被爆者健診が半数以下となるなど、被爆者を取り巻く環境が厳しくなっている現状が報告されました。

続いて令和4年度の活動方針、予算、役員人事の各案件が審議され、原案通り承認されました。活動方針は従来通り「核兵器廃絶」と「被爆者相互交流」を目的として活動を継続すること、行事の継続は従来からの「慰霊式典」などに加え、「研修会」の復活と勝浦市での「原爆の凶の展示」が計画されていることが紹介されました。千葉県からの補助金が87,000円追加されたことが報告され、事務局局長が事務局には留まるが事務局に承認を退任する事が承認された。事務局局長は「事務局長職」はその間に当たることとが承認されました。

3月末に流山市の会が解散するなど被爆者会員の減少が続いており、二世会員などの入会を勧誘する声がありました。最後に「原爆を許すまじ」の朗読をいたしました。

記 青木幸雄



日本被団協
メッセージ

千葉県原爆被爆者友愛会第52回定期総会の盛会を祝し、お集りの皆さまに心より連帯のあいさつを申し上げます。

広島・長崎の被爆から77年目を迎えました。8月6日と9日、米軍が人類史上初めて核兵器を使用した地獄を体験させられた私たち、無差別にむごい死を強いられた多くの人々の無念を胸に刻み、その後も訪れる被爆者の死に直面しながら、自らの傷と絶えず向き合ひ、生きてきました。原爆被害の責任を追究する国の責に、核兵器による犠牲者が二度と生れないうことを強く願ひ、運動を続けていきます。

私たち被爆者と、平和を願う多くの人々の声が世界を動かす核兵器禁止条約が成立、発効しました。核兵器を禁止する国際法ができたことは、大きな喜びです。しかし、核保有国は核兵器禁止条約に背を向け、米国の「核の傘」に頼る日本も同様の戦争被爆国を自称する日本政府のこの姿勢は、原爆被害への国家補償を頑なに拒み続けていくことと合わせ、許すことはできません。

また、核兵器による威嚇をもってウクライナへの侵略を進めるロシアの暴挙には、悲しみと怒りをもって強く抗議し、一日も早い戦争収束を望みます。

前頁から

者の声と運動が、より一層求められています。核兵器も戦争もない平和な世界を実現するため、私たちは1日でも長く生きて被爆の実相を語り、世界にむけて強く訴えてまいります。

皆さまの日頃のご活動に敬意を表しつつ、本日の総会が実現あるものとなりますよう、心から期待します。2022年5月26日

日本原水爆被害者団体協議会

来賓メッセージ

多くの団体・個人様からメッセージを頂戴しました。紙面の都合上ここにご紹介できません。敬称略

【衆議院議員】

渡辺弘道 藪浦健太郎 櫻田義孝 谷田川元 角田秀穂 野田佳彦 志位和夫 本庄さとし 松野博

一 田嶋要 森英介
【参議院議員】
猪口邦子 石井準一
元榮太一郎

【政党関連】

公明党千葉本部・原爆被害者対策委員会
委員長(千葉県議会議員)・赤間正明
新社会党千葉県本部
委員長・宮川敏一
立憲民主党千葉県総支部連合会代表・長浜博行
市民ネットワーク千葉県共同代表・伊藤とし子・岩崎明子
日本共産党千葉県委員会・小倉忠平

【団体】

千葉県労働組合連合会議長・本原康雄
自治労千葉県本部中央執行委員長・竹内敏昭
千葉県健康友の会連合会会長・秋元稔
千葉県保険医協会会長・岡野久
千葉県生活協同組合連合会会長理事・首藤恵理子
千葉県民主医療機関連合会会長・宮原重佳
千葉県うたごえ協議会・埴治子

千葉県アジア・アメリカ・ラテンアメリカ連合委員会
原水爆禁止千葉県協議会
松戸平和委員会
新日本婦人の会千葉県本部会長・松田まつえ

千葉県子どもたちの舞台芸術関係者による核兵器廃絶を實現する会代表・藤下久子
核兵器廃絶をめざす千葉の会・布施貴良
神奈川県原爆被災者の会会長・丸山進
山梨県原水爆被爆者の会会長・日向偉夫
日本原水爆被害者団体協議会
埼玉県原爆被害者協議会会長・原明範

活動報告

活動方針

今般の第52回友愛会定期総会で以下の内容の活動報告/活動方針が承認採択されました。

【令和3年度活動報告】

「慰霊式典」や県庁での「平和のための原爆展」他、ほぼ予定の行事を実施することができました。また友愛会ニュースの発行など被爆者間の情報を取り持つ活動を実施しました。

5年間活動を続け「ヒバクシャ国際署名」は「核兵器禁止条約」が発効したことから、新たに「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める千葉の会」としてスタートし、千葉そごう前で第1回署名活動を行いました。日本被爆団協として第一次署名65万7千筆が政府に提出されました。

「被爆の語り伝え」では被爆者が高齢化している現状を踏まえ、二世や支援者による紙芝居や朗読なども取り入れられてきました。オンラインも含め106会場で7000人を超える方々に語り

行いました。被爆者に寄りそうことを目的とした相談事業は、コロナ禍で保健所健診は半減しました。が、事務所・個人宅での相談が増え138件に上りました。内容として介護保健制度への増加が見られました。

【令和4年度活動方針】

核兵器廃絶をめざす活動
一…「核兵器禁止条約」が発効して1年、批准国は60ヶ国を超えました。ロシアによるウクライナ侵攻で平和と核を巡る状況は一段と厳しいものになっていきます。唯一の戦争被爆国である日本政府に対し核兵器廃絶への先頭に立つことを求め、署名活動を続けていきます。また、被爆者運動の原点として「被爆体験の語り」を学校や地域に出向き伝えていきます。「慰霊式典」や「平和のため

の原爆展」を実施します。二…相談事業の充実経験豊かな相談員が減

少してはいますが、新たに勉強会を立ち上げました。「まきの木」や「相談ガイドブック」を活用し、相談活動に対応して行きます。

三…被爆者運動の継日本被爆団協が被爆者団体の要であり、機関誌「被団協」の購読や維持活動募金の呼びかけを行います。また、黒い雨被爆者の認定や介護問題などの要望を国・厚労省に要請して行きます。

四…会員相互支援とコロナ禍のため昨年度予定した「友愛会50周年を祝う会」は延期されています。が、本年度開催しますが、本年度開催します。会員間の交流源として「友愛会ニュース」は年4回発行します。また「研修会」の復活開催が決議されました。

記 青木幸雄



『日本政府に核兵器禁止条約
の署名・批准を求め』
署名活動 報告

「核兵器禁止条約」は、昨年一月批准国数が50ヶ国を超え発効されました。ところが、肝心の「唯一の被爆国」である日本国は、批准も署名もしていません。私たちは今、『求める千葉の会』として、署名活動に取り組みんでいます。

3年続く「新型コロナウイルス」の影響で思うように進んでいない中、5月現在、千葉県原爆被爆者友愛会へ3,980筆の署名が寄せられています。今回は、千葉県全体の集約が報告されており、すので、報告いたします。あなたの署名を完全にかすためにはお一人お一人が自筆署名すること、原則です。コピーやファクシミリ、住所やご氏名に“同上”や“〃”は認められておりません。自筆署名でお気持ち

は反映されず。署名に関して、用紙の形式が不明、集まった署名をどうする等の質問は、左記へファクシミリが便利で、また、火曜日、金曜日には、直接お電話下さい、当番が対応します。

記 平山晃

千葉県原爆被爆者友愛会
〒263-0021
千葉市稲毛区轟町

1-4-23
ライナハウスB号棟
101号室

電話/FAX
043-253-7768



「友愛会50周年を祝う会」のご案内

実行委員長・齋藤實 副実行委員長・宇田川太江子

友愛会は4月発行友愛会ニュースで「友愛会50周年を祝う会」を10月13日（木）に延期決定のご案内を致しました。つきましては第5回実行委員会を6月16日に開催し、開催に向けて、全ての準備を進めて参りましたので、下記の通りご報告いたします。

会員の皆様には一人でも多くのご参加をいただきますよう、お願いとご案内を申し上げます。

なお、ご参加人数の確定とリストを8月19日（金）第6回実行委員会で確認をいたします。関係で、ご参加のご希望の方は **FAXかメールにて、8月18日（木）までに**、友愛会事務局あてにお願い致します。

記

日時 令和4年10月13日(木)午後12時受付、開宴12時30分～14時30分
場所 京成ホテル ミラマーレ・最上階宴会場（京成千葉中央駅直結）
会費 一万円（お祝い金として）

<実行委員会事務局連絡先> 千葉県原爆被爆者友愛会

事務局 青木幸雄 TEL・FAX 043-253-7768

メールアドレス: jimukyokuate@meet.plala.or.jp

第44回 原爆死没者慰霊式典

第44回千葉県原爆死没者慰霊式典を開催します。

日時 令和4年7月16日(土)

午後1時～2時半(雨天決行)

場所 千葉県文化会館・小ホール

千葉県に所縁ある原子爆弾被爆死没者で慰霊碑に合祀された方を慰霊します。無宗教での式典です。会員の皆様のご参加をお待ちします。ご不明な事がございましたら友愛会までお問い合わせ下さい。

◆合祀登録

千葉県に所縁の被爆者でお亡くなりになった方は合祀できます。何年も前に亡くなりになっても希望されれば合祀できます。合祀を希望のご遺族の方は、友愛会までご連絡ください。なお本年度扱いの締め切りは7月8日とさせていただきます。その以降の申し込みは来年度扱いになります。

◆折鶴献納のお願い

慰霊式典を飾る「折鶴」をお寄せ下さい。友愛会事務所です。当日会場にお持ち下さる場合は、予め糸通しをして束ねてお持ち下さるようご協力をお願いいたします。

◆慰霊碑の清掃

慰霊式前日の7月15日午前10時から



被爆77年 平和祈念原爆展 及び 「ヒロシマ」「ナガサキ」を繰り返させないための 被爆体験の語りとビデオ上映

2022年 8月 8日(月) ~ 10日(水)

於 千葉県庁本庁舎1階

原爆パネル展	於・集民ホール
11:00~15:00	
ビデオ上映	於・多目的ホール
11:00~12:00	13:00~15:00
被爆体験の語り	於・多目的ホール
12:15~12:55	

被爆体験の語り

8月6日(水) 枝光盛樹さん(演劇体験)【77年前 長崎被爆の体験】
 8月9日(土) 樋口恵子さん(演劇体験)【母の被爆体験を語り継ぐ】
 8月10日(日) 木村純子さん・小谷幸子さんの紙芝居【戦いはまだ終わらない】

被爆の証「丸木美術館」 丸木美術館よりお借りした丸木画伯ご夫妻の原爆関連資料を展示します。また、今年七五歳・基町高校の生徒さんたちの制作された「原爆の証」展示も同時展示します。

千葉県原爆被爆者友愛会 〒260-0801千葉市中央区新大塚1-1-15 電話 043-282-3744

原爆パネル展と被爆の証言

- ◆実施時期 8月8日(月)～10日(水)予定
- ◆実施場所 千葉県本庁舎県民ホール 及び 多目的ホール
- ◆目的 原爆被害パネル展示と被爆者の証言を通じ

核兵器の悲惨さを訴える

被爆77年の今年には、パネル展示に関しては二種の特別展示が予定されています。その一は丸木美術館よりお借りした丸木画伯ご夫妻の力作「原爆の証」数点、その二は広島・基町高校の生徒さんたちが被爆者の語ってくださった被爆の実相を絵画にして表現したものの展示です。いずれも非常に説得力にあふれた見ごたえのあるものですから、ご期待ください。

ご友人をお誘いの上ご来場下さい。

友愛会ホームページ ご存知ですか

未だ見たことない方は是非ご覧になって下さい。ホームページアドレス(URL)は、下記のとおりです。

http://www5.plala.or.jp/yuaikai/ URL画面からご感想とご意見を是非お寄せください。ご一緒に友愛会ホームページをつくっていきましょう。

夏休みのお知らせ!

友愛会事務所は以下の通り夏休みを取らせて頂きます。

8月12日(金)～16日(火)

ご用がある場合は、FAXまたは友愛会電子メールをご利用下さい。留守電にも対応します。

令和4年度

指定医療機関 被爆者健診日程

◆まくはり診療所健康管理センター

(電話)043-276-1851

11月6日(日) 一般健診

2月5日(日) がん検診、一般健診

◆二和ふれあいクリニック

(電話)047-448-7118

7月3日(日) がん検診・二世健診

10月2日(日) 一般健診・二世健診

なお、コロナ禍において予定が変更されることもあります。

令和4年度

保健所 被爆者健診日程

県内各保健所では被爆者一般健診実施につきましましては現状のコロナ禍のため、予定が立てられない状況です。受診希望者は県指定の医療機関にご相談ください。

要精密検査の方へ

被爆者健診の結果「要精密検査」と判定された方は、健康保持、管理の観点でも精密検査を受診して下さい。

被爆者健康手帳又は第一種健康診断受診者証の提示者は、健康診断(一般検査)受診の結果、要精密検査と判定された項目については、すべて公費負担により精密検査を受けることができ、受診者負担はありません。(まきの木参照)

「被団協」新聞(毎月6日発行)

定期購読を希望される方は、電話またはFAXで「お名前(又は団体名)・ご住所・電話番号」を「被団協」新聞を〇年〇月から購読します。と分かるよう、日本被団協までご連絡ください。

購読料は年間2,000円(送料共)

〒105-0015 東京都港区芝大門1-3-5

電話)03-3438-1897

FAX)03-3431-2113

日本原水爆被害者団体協議会

友愛会

会費

協会の活動に協力していただく方には、会費の納入をお願いいたします。お名前を先にお知らせください。

ありがとうございました

寄付金をご恵贈戴きありがとうございました。友愛会は多くの皆様に支えられていることに感謝申し上げます。

(令和4年6月7日現在)

- ◆100,000円 故大野悟 ◆10,000円 四街道市核兵器廃絶平和都市宣言38周年「平和と文化のつどい」実行委員会、荒木忠直、宇田川太江子、匿名 ◆8,000円 朝日奈隆、花井透、武トモ子 ◆7,000円 松岡安子 ◆5,000円 杉原朋子、熊谷典子、小谷孝子、児玉三智子、木村美子 ◆4,000円 須田裕見子 ◆3,000円 田村博子、重田忠治、弓削崇、畠中富子、椎葉重盛、岩崎興三、清嶋勝、樋口恵子、阿部浩生 ◆2,000円 菅原静江、池田順子、田中悦子、岩本美津子、鈴木眞理、夏目侑子 ◆1,000円 多田節子、木原ヨシ子、立石哲男、及川敬文、一刀シン子、谷口昌子、白石芙美子、浦川明、山本末弘、坂村卓司、有田俊雄
- ◆「友愛会50周年を祝う会」へのご寄付として10,000円 岡崎美保

(敬称略)

編集後記

★ 新型コロナウイルス感染の恐怖が消えない今、友愛会の活動は今も控えています。加えて友愛会被爆者役員として現役で活動できる者は大幅に減少し、被爆二世や、志を同じくする会員のお力添えで何とか前に進んでいるのが現状です。更に友愛会会員の被爆者は高齢で、止む無く脱会される方々も後を絶たないことで、会費収入もままならない事態になってます。

★ やがてはこの世界に生きる被爆者が世界から消えるのももうすぐです。その後は、被爆者に遠慮する必要もなくなつたと核兵器の生産、そして超小型核兵器の使用が現実の問題になるのではないのでしょうか？生存被爆者が目を光らせているうちに核兵器禁止条約で世界が一つとなり、安心して三途の川を渡りたいと願わざるを得ません。

★ とところで、浦安被爆者つくしの会で長く会長として活躍された大矢さんのことをご息女大矢淳子さんが被爆二世として父の意思を継いで平和活動に進むと「一筆啓上」のカラムで綴って下さったことは、被爆者として嬉しさを頂けました。このような感動がある紙面作りにも今後も努力します。IN



友愛会 関連 URL



次回の友愛会ニュースは 10月1日付で発行します